



なごや希少種シンポジウム2025

～レッドデータブックなごやを改訂します～

<プログラム>

報告

10年ぶりの改訂となる『レッドデータブックなごや2025』の概要や、植物・鳥類・魚類における最新の知見などについて、担当の専門家が報告します。

懇談会

各分類群の専門家と来場者が、生きものについて気軽に懇談します。

日時 2025（令和7）年 **3月23日**（日）14時～17時（**13時30分 開場**）

場所 ^{こじょう}**鯨城ホール**（伏見ライフプラザ 5階）（中区栄一丁目23番13号）

定員 **200名**（当日先着順） **入場無料**

主催 名古屋市環境局 なごや生物多様性センター

交通アクセス

○地下鉄

「伏見駅」現在6番出口は利用できません。
5番出口または8番出口より南へ徒歩7分

「大須観音駅」4番出口より北へ徒歩7分

※ ご来場は、公共交通機関をご利用下さい。



■ タイムテーブル

14時00分 開会・あいさつ

14時05分 基調講演 レッドデータブックなごや2025について

講演：芹沢 俊介（愛知教育大学 名誉教授）

14時15分 報告① 名古屋市の絶滅危惧植物の現在と特徴

講演：長谷川泰洋（名古屋産業大学 大学院環境マネジメント研究科 准教授）

「レッドデータブックなごや2025植物編」から、名古屋市の生態系の変化を示す種を中心に紹介し、名古屋市の生物多様性について考えるための情報を提供します。

14時45分 報告② 絶滅危惧種の野鳥から、名古屋市の自然環境を考える

講演：金澤 智（日本野鳥の会 愛知県支部・名古屋市立大学 大学院医学研究科）

「レッドデータブックなごや2025動物編」から、鳥類の内容を概説します。また今回の解析データがどのような意味の持つのか、さらに野鳥だけに限らず、生きものの生息環境の改善にどのように結びつけていくのが良いのか、皆様と一緒に考える場を提供します。

15時15分 休憩

15時25分 報告③ 全世界の淡水生物のうち4分の1が絶滅の危機に

講演：谷口 義則（名城大学 人間学部 教授）

国際自然保護連合（IUCN）の研究グループが、淡水にすむ2万3千種以上の魚類などの生息状況を世界で初めて地球規模で網羅的に評価した結果が、2025年1月8日に科学誌Natureに発表されました。共同研究者として参加した立場から、この研究がどのように進められたかなどの舞台裏も紹介します。

16時05分 休憩

16時15分 懇談会

3つのグループに分かれて、各分類群の専門家が皆さんの質問にお答えします。日頃、皆さんが気になっている、生きものに関するちょっとした疑問にもお答えしますので、お気軽にご参加下さい。

第一グループ（植物）：種子植物、シダ植物の専門家が対応します

第二グループ（^{せきつい}脊椎動物）：哺乳類、鳥類、は虫類、両生類、魚類の専門家が対応します

第三グループ（^{むせきつい}無脊椎動物）：昆虫類、クモ類、エビ・カニ類、貝類の専門家が対応します

17時00分 閉会

■ 申込み等

事前の申し込みは不要です。ただし、当日定員（先着200名）に達した場合は、入場をお断りする場合がありますので、あらかじめご承知おき下さい。

■ 問合せ先

〒468-0066 名古屋市天白区元八事 5 丁目 230 番地

名古屋市環境局 なごや生物多様性センター

電話：052-831-8104 Eメール：bdnagoya@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp

なごや生きもののライブラリー

なごや生物多様性センターウェブサイト
<https://ikimono.city.nagoya.jp/>

